

NST 勉強会のご案内

- ・5月12日(木)「客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出」心療内科:前林 佳朗
- ・5月26日(木)「慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養療法」呼吸器科:平沼 修
- ・6月9日(木)「嚥下リハビリテーション」
リハビリテーション部:大原・西川・松田他
「嚥下訓練食・濃厚流動食」栄養部:山崎
- ・6月23日(木)「クローン(Crohn)病患者の栄養療法」消化器科:高谷 宏樹
- ・7月14日「褥瘡患者の栄養療法」
皮膚科:水谷 浩美
- ・7月28日(木)「脳血管障害を併発したⅡ型糖尿病患者の栄養療法」
内科:神内 謙至
- ・8月11日(木)「簡易懸濁法、経腸・経静脈栄養」薬剤部:北川「NST と口腔衛生管理」歯科口腔外科:山本
- ・8月25日(木)「短腸症候群(SBS)患者の栄養療法」外科:加納 正人
- ・9月8日(木)「侵襲下の高血糖患者の栄養管理」内科:橋本 善隆
- ・9月22日(木)「急性腎不全患者の栄養管理」内科:桑形 尚吾

17時半～19時 9階会議室

※筆記具・電卓ご持参下さい



大津市民病院 地域医療連携室だより ●第23号●



看護局の紹介
かわらばやし かずみ
河原林 和美 看護局長

4月1日、看護局長を拝命いたしました。一言ご挨拶申し上げます。
さて、このたびは東日本大震災にて多くの方が被災されたことによりお見舞い申し上げます。当院の看護師もDMAT隊で震災翌日には現地での医療活動にあたり、その後

も医療チーム班として支援に参加しました。「自分も是非、支援に加わりたい」との気持ちを持つ看護職員も多くおり、今後も病院協会や看護協会を通じ継続的に医療チームに参加していく予定です。
看護局は400余名のスタッフが存在する大きな組織です。課題も多く抱えています。病院の理念・方針を基に看護局として個人レベルまで目標を繋ぎ、管理のサイクルを廻しています。めざす看護は安全で質の高い看護です。そして、暖かく丁寧な看護を提供することです。
継続教育をさらに充実させ、看護局全スタッフが大津市民病院の看護師であることに誇りを持ち、地域の方々に信頼していただける看護組織を作っていきたいと考えます。
どうぞよろしく願っています。

消化器科の紹介

わかばやし なおき
若林 直樹 診療部長



この4月より消化器部長を拝命しました。若林直樹と申します。わたしたち消化器科は、守備範囲の広い消化器領域すべてに渡って最先端かつ質の高い診療の実践を目指しています。
それぞれの専門領域に根ざしながら、より広い視野に立った質の高いチーム医療を提供し、患者さんからはもちろんのこと、地域の医院・クリニック・病院からも信頼される診療科でありたいと、日々研鑽に励んでおります。
昨春秋に本院は滋賀県地域がん診療連携支援病院に指定され、さらには消化器内視鏡センターが新たに整備開設されました。
消化器癌に対する最適な治療、特に内視鏡による最新の診断と治療などあらゆる分野において、これまで以上に地域の先生方のお役に立てるよう連携を深めてまいりたいと存じますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

